

けいちょうねんかん けんちみずちょう 慶長年間の検地水帳

昭和47年3月9日 八潮市指定有形文化財（古文書）

個人蔵（資料館寄託）

上馬場濱野家に伝えられる検地水帳。濱野家は岩付太田氏家臣であったが、元龜元年（1570）頃、市域の馬場に落居し、以来綾瀬川周辺の荒野を開発し近世上馬場村の基礎を築き、代々名主を勤めてきた家である。

検地帳は水帳・竿帳などともよばれ、領主が農民の保有地を調査測量し、地名や等級（上・中・下・下々）、面積や石高、耕作者名を記した台帳である。検地帳は2部作成し1部は奉行所に、他の1部は村の名主が保管した。濱野家には慶長17年（1612）、同20年（1615）、元和7年（1621）、寛永4年（1627）などの

総検地帳および新田検地帳20点が遺されている。これらの検地水帳は、江戸時代の上馬場村の年貢および開発などの状況を知るうえで貴重な史料であるため、とくに慶長年間の検地水帳2冊が市の文化財として指定されている。



◎公開日：資料館開館日 9時～17時

◎その他の文化財：旧藤波家住宅（15時45分まで）
八條遺跡出土品（一部常設展示）

◎交通案内

- ・草加駅東口からバス（八潮駅北口行、八潮団地行、または木曾根行）「手代橋」下車徒歩5分
- ・八潮駅北口からバス（柳之宮経由草加駅東口行）「後谷住宅前」下車徒歩3分

◎資料館休館日

月曜日（祝日の場合は開館） 祝日の翌日 ほか



本図は電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成したものです。